

講習の名称	インターネット時代の生徒指導法の研究	講習番号	F
開催日	平成25年8月23日(金)	定員	40名
主な受講対象者	小・中・高等学校教諭		
担当講師	岡田 昭夫(経済学部非常勤講師)		
講習の概要	生徒たちは情報化社会の中で、メディアやコモディティを無批判に受容し、その社会性は多くの面で危機に瀕している。そこであるべき社会性を涵養するための生徒指導方法を、学校種別毎に編成したグループで研究する。そのため①参加者によるグループで生徒たちの問題性を検討し、②その測定のための調査スキルを学び、③あるべき指導方法とその妥当性をフロア全体で検討する。④プレゼンスキルを学び、グループごとにプレゼンでそれを提言する。⑤上記の学校教育の諸過程で、適切な著作権の知識が必須であることを再認識してもらう。		
講習計画	09:30～10:30 (60分)	講義:インターネット世代の大学生事情、生活から就職まで。 まず問題提起として今メディア社会で大学生が自覚症状のないまま陥っている全人格的危機について、講習担当者が早稲田・一橋・明治の各大学でアンケート調査した客観的データをもとに講義する。	
	10:30～10:40	休憩	
	10:40～11:40 (60分)	小中高でできること、やるべきこと。 上記を回避するために小中高でできること、やるべきこと、また問題の真因はどこに存在するのか、全員で客観的データを交えてカジュアルトークをしましょう!その後グループ分けをします。	
	11:40～11:50	休憩	
	11:50～12:50 (60分)	小中高横断交流会 参加者のグループ毎のワークショップを通じて、他校の先生方と上記問題についての悩みや取り組み方等の情報交換を行きましょう。本日の最終時限でのあるべき指導法の提言を目指してください。	
	12:50～13:30	昼食休憩	
	13:30～14:30 (60分)	学校教育に必要な著作権、教員の指導力としてのプレゼン能力 学校教育の現場では著作権の知識不足のため権利侵害が横行しています。本時では身近な問題を例にとり著作権法の知識を身につけ、併せてより良い指導のためのプレゼン能力をトレーニングします。	
	14:30～14:40	休憩	
	14:40～15:40 (60分)	グループ毎の研究成果プレゼン作成 各グループによる指導方法の提言についてプレゼンを準備します。PCのプレゼンスキルを心配する必要はありません。サポートスタッフが待機しています。皆で協力してひとつのプレゼンを作りましょう。	
	15:40～15:50	休憩	
	15:50～16:50 (60分)	最終プレゼンと評価の実施 指導法の提言について各チーム毎に最終プレゼンを実施します。コンテンツと質疑応答の内容を参加者が相互に評価しましょう。講習担当者もそれを評価します。	
	16:50～17:00	事後評価アンケート	
成績評価の観点	上記最終プレゼンの参加者による相互評価の結果と講習担当者の評価を基に、各参加者の成績を算出します。		
備考			